社会 御担当者様

寿郎社の重版のご案内

〒060-0807　札幌市北区北七条西2丁目37山京ビル
電話011-708-8565　FAX011-708-8566
メール：info@jurousha.com　サイト：www.jurousha.com

福島第一原発事故の環境汚染も健康被害もまるで無かったかのように、なし崩し的に原発政策が推進されていく中で、放射線科医の立場から警鐘を鳴らし続ける実証的な反原発の本。地味に売れ続けて版を重ねる「原発」「環境」の棚に必須の一冊です。

被曝インフォデミック

トリチウム、内部被曝――ICRPによるエセ科学の拡散

＊「インフォデミック」とは世界保健機構（WHO）による造語で「偽情報の拡散」を意味しています。

2025年6月 重版［4刷］出来

2021年3月初版

全国各地で講演活動を続ける
（独）国立病院機構北海道がんセンター名誉院長 **西尾正道** 著

A5判 並製 カラー132頁
定価：本体**1100**円＋税（税込1210円）
ISBN 978-4-909281-32-6 C0036

主な内容

はじめに
第1章 棄民政策を続ける原子力ムラの事故後の対応
数値で見る棄民政策
原子力ムラの犯罪
第2章 放射線治療医として
はじめに
放射線の基礎知識
内部被曝を利用した治療の実例
第3章 閾値とICRPの数値の欺瞞性
はじめに
ICRPとはどんな組織か
ICRPのエセ科学のいくつかのポイント
最新の研究成果を取り入れない
ICRPの問題点
第4章 原発事故による放射線被曝を考える
低線量被曝による健康被害
チェルノブイリ事故との比較で考える
国際機関の動向（ICRPとECRR）
原発作業員と福島県民の被曝線量の問題
小児甲状腺がんの問題
第5章 隠蔽され続ける内部被曝の恐ろしさ
はじめに
福島第一原発事故による放射性微粒子の拡散
内部被曝のエネルギー分布
食品の汚染の問題
内部被曝に関する最新の知見
第6章 長寿命放射性元素体内取り込み症候群について
日本人の死因の移り変わり
「長寿命放射性元素体内取り込み症候群」とは何か
第7章 トリチウムの健康被害について
はじめに
トリチウム【tritium】（記号：T＝^{3}H）とは何か
自然界でのトリチウムの移行過程と濃縮
トリチウムの人体影響
原発稼働による周辺住民の健康被害の報告
トリチウムは世界中で垂れ流し
あとがき

西尾正道（にしお・まさみち）――1949年生まれ。函館市出身。札幌医科大学卒業。1974年、国立札幌病院・北海道がんセンター（現・（独）国立病院機構・北海道がんセンター）放射線科勤務。2008年、同センター院長、2013年より名誉院長。
日本医学放射線学会放射線治療専門医。日本放射線腫瘍学会名誉会員。日本頭頸部癌学会名誉会員。日本食道学会特別会委員。「市民のためのがん治療の会」顧問。
著書に『放射線健康障害の真実』『がん患者3万人と向きあった医師が語る正直ながんのはなし』『患者よ、がんと賢く闘え！』（以上、旬報社）、『被ばく列島』（小出裕章との共著、KADOKAWA）など。

＊本書は地方小扱いですので一部の書店を除き新刊配本はありません。必ず事前のご予約（ご注文）をお願いします。

寿郎社FAX011-708-8566まで

〔注文短冊〕

地方小出版流通センター取扱品

書店名（番線）

御担当者名

発行所	編著者名	本体価格（税抜）	発注日
寿郎社	西尾正道 著	1100円	月　日

注文数　冊

書名　被曝インフォデミック　トリチウム、内部被曝――ICRPによるエセ科学の拡散
ISBN978-4-909281-32-6

個人注文票　個人が注文する場合は①冊数②お名前③郵便番号／ご住所④電話番号をここに書き、書店にお持ちいただくか寿郎社までFAXでお送りください。寿郎社にご注文いただいた場合は1冊300円の送料がかかります。

お名前　郵便番号／ご住所 □□□-□□□□　電話番号 （　　）